

白糠中学校3年 阿部 はるか さん

「少年の主張」全道大会に出場!!

釧路総合振興局地区大会で最優秀賞を受賞

～ 支える側への配慮も ～

7月26日、平成29年度「少年の主張」釧路総合振興局地区大会が釧路高等技術専門学院で開催され、本町代表として出場した白糠中学校3年の阿部はるかさんが最優秀賞を受賞しました。

釧路管内の各市町村で行われた予選大会において最優秀賞を受賞し、各市町村の代表となった8人が出場した同大会で阿部さんは「支える側への配慮も」と題して、5年前まで介護職員として働いていた父親の話や自身のボランティア活動を通じて知った父親の現状に触れ、介護者の精神的負担や自分の意思をうまく伝えることができない認知症患者の痛みと向き合う必要がある「支えられる側への理解はもちろん、支える側への配慮も大切」と発表し、見事に全道大会への出場を決めました。

全道大会への出場は、昨年の松橋愛美さん（当時、庶路中学校3年）に続き白糠町の代表が2年連続出場の快挙となります。全道大会は9月8日に札幌市の北海道立道民活動センターかでの2・7で開催される予定です。

8月1日に報告のため役場を訪れた阿部さんは「賞や順位は気にせず、自分の主張を一人でも多くの人に届けられるように頑張ります」と全道大会に向けての目標を話していました。



▲上段：棚野町長に健闘を誓い握手する阿部さん（左）
下段：報告後に激励を受けている様子

阿部さんが小学校6年生の時に出場した町教委主催の主張発表で、最優秀賞を受賞した時から注目されているが、気持ちが出ているので多くの人に感動を与えてくれると思います。自分の可能性を信じてチャレンジしてください。さらに良い報告が聞けることを楽しみにしています」と激励の言葉を贈りました。

板谷教育長は「町内大会の時と比べて発表の仕方がとても良くなった。観点も素晴らしいことから全道大会も期待しています」と激励しました。

（次頁で阿部さんの発表の全文を掲載します）